

R5 授業科目 教育・保育課程論（1年生後期/講義/保育士・幼稚園教諭必修授業科目）

【到達目標】

- ・保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について理解する。
- ・全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を理解する。
- ・子どもの理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）について、その全体構造を捉え、理解する。

	内容・項目	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
知識・理解	保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について	保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について、具体的に理解している。	保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について、概ね具体的に理解している。	保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について概ね理解しているが、具体性に欠ける。	保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について、理解が不十分である。
	全体的な計画と指導計画の作成の意義と方法	全体的な計画と指導計画の作成の意義と方法について、具体的に理解している。	全体的な計画と指導計画の作成の意義と方法について、概ね具体的に理解している。	全体的な計画と指導計画の作成の意義と方法について概ね理解しているが、具体性に欠ける。	全体的な計画と指導計画の作成の意義と方法について、理解が不十分である。
	子どもの理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）	子どもの理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）について、具体的に理解している。	子どもの理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）について、概ね具体的に理解している。	子どもの理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）について概ね理解しているが、具体性に欠ける。	子どもの理解に基づく保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）について、理解が不十分である。
	月案および週案の立案	授業での学びを活用して、月案や週案を作成することができる。	授業での学びを月案や週案作成に活用しようとすることができる。	授業での学びを、他者からの助言があれば、月案や週案作成に活用しようとすることができる。	授業での学びと月案や週案のつながりが十分に理解できておらず、立案ができない。
態度・志向性	授業参加	授業内容に関心を持ち、積極的に質問したり、わかりやすくノートをまとめたりするなど、柔軟な態度で参加している。	授業内容に関心を持ち、自分なりの方法でわかりやすくノートをまとめ、概ね積極的に参加している。	授業内容に関心が低く、ノートを写しているだけの状況である。	授業内容に関心がなく、居眠りや雑談、他の作業をしている。ノートを仕上げるできない。
	計画力	目標に向かって、効率的に作業が進むよう計画的に取り組む、期日までに余裕をもって仕上げるることができる。	目標に沿った計画が提示されると、誠実に取り組み、期日までに余裕をもって仕上げるることができる。	しなければならないことはわかっているが、他者からのサポートが必要であり、自分の力だけでは取り組みにくい。	計画する力が乏しく、期日までに仕上げるのが難しい。
	ふりかえり	講義内容や自身の授業態度に対して、客観的に振り返ることができ、頻繁に積極的な質疑を行う。	講義内容や自身の授業態度に対して、客観的に振り返ることができ、時には質疑を行う。	学びの方向性については感じているが、講義内容や自身の授業態度に対して、客観的に振り返ることが不十分である。	ほとんどふりかえりや質疑を行わず、学びの方向性が見えない。